

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 10 月 19 日 (2017.10.19)

【公開番号】特開 2015-78178 (P2015-78178A)

【公開日】平成 27 年 4 月 23 日 (2015.4.23)

【年通号数】公開・登録公報 2015-027

【出願番号】特願 2014-185087 (P2014-185087)

【国際特許分類】

C 0 7 D 409/14 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

C 0 9 K 11/06 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 409/14 C S P

H 0 5 B 33/14 B

H 0 5 B 33/22 B

H 0 5 B 33/22 D

C 0 9 K 11/06 6 9 0

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 9 月 5 日 (2017.9.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 (G 1) で表される有機化合物。

【化 1】

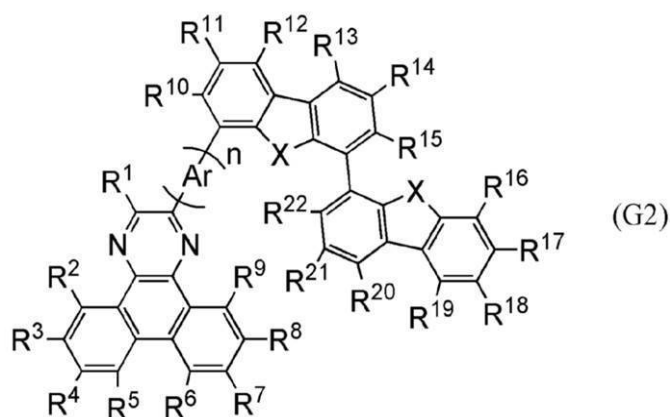


(但し、式 (G 1) において、A は置換又は無置換のジベンゾキノキサリン骨格を表し、B は置換又は無置換の 4 , 4 ' - ビジベンゾフラン骨格又は 4 , 4 ' - ビジベンゾチオフェン骨格を表す。また A r は炭素数 6 乃至 13 のアリーレン基を表し、n は 0 乃至 2 の整数である。)

【請求項 2】

式 (G 2) で表される有機化合物。

【化 2】

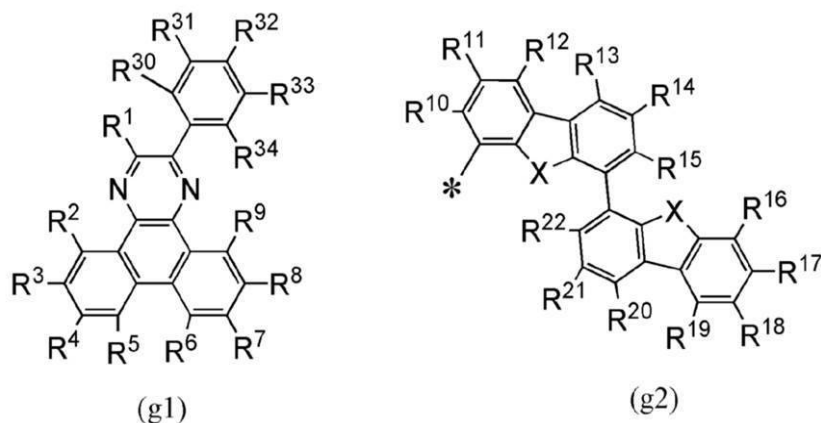


(但し、式 (G 2) において、Ar は炭素数 6 乃至 13 のアリーレン基を表し、n は 0 乃至 2 の整数である。また、R¹ 乃至 R²² はそれぞれ独立に水素又は炭素数 1 乃至 6 のアルキル基を表し、X は酸素原子または硫黄原子を表す。)

【請求項 3】

式 (g 1) 及び (g 2) で表される有機化合物。

【化 3】

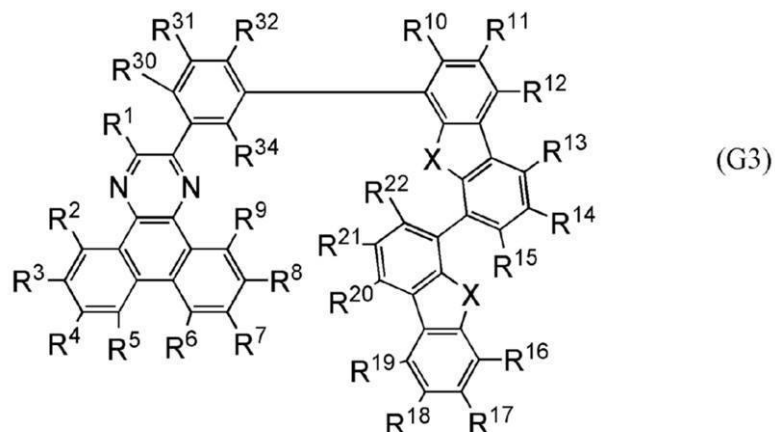


(但し、式 (g 1) および式 (g 2) において、R¹ 乃至 R²² はそれぞれ独立に水素又は炭素数 1 乃至 6 のアルキル基を表し、X は酸素原子または硫黄原子を表す。また、R³⁰ 乃至 R³⁴ は、一つが、式 (g 2) で表される基を表し、* の位置で結合する。その他はそれぞれ独立に水素又は炭素数 1 乃至 6 のアルキル基を表す。)

【請求項 4】

式 (G 3) で表される有機化合物。

【化 4】

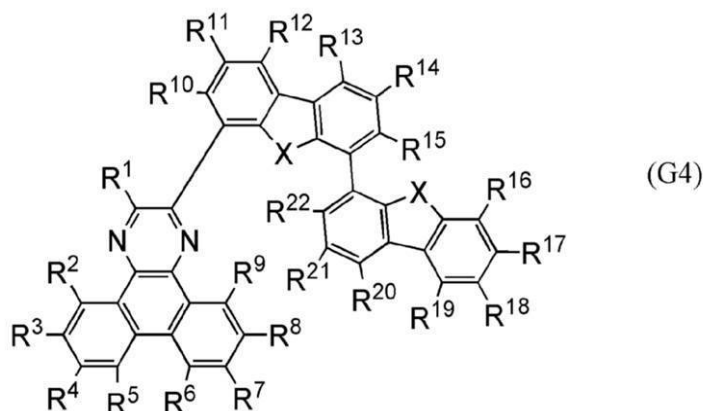


(但し、式 (G 3) において、 R^1 乃至 R^{22} 、 R^{30} 乃至 R^{32} 及び R^{34} はそれぞれ独立に水素又は炭素数 1 乃至 6 のアルキル基を表し、 X は酸素原子または硫黄原子を表す。)

【請求項 5】

式 (G 4) で表される有機化合物。

【化 5】



(但し、式 (G 4) において、 R^1 乃至 R^{22} はそれぞれ独立に水素又は炭素数 1 乃至 6 のアルキル基を表し、 X は酸素原子または硫黄原子を表す。)

【請求項 6】

請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか一項に記載の有機化合物を含む発光素子。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の発光素子を含むディスプレイモジュール。

【請求項 8】

請求項 6 に記載の発光素子を含む照明モジュール。

【請求項 9】

請求項 6 に記載の発光素子と、前記発光素子を制御する手段を備えた発光装置。

【請求項 10】

請求項 6 に記載の発光素子を表示部に有し、前記発光素子を制御する手段を備えた表示装置。

【請求項 11】

請求項 6 に記載の発光素子を照明部に有し、前記発光素子を制御する手段を備えた照明装置。

【請求項 12】

請求項 6 に記載の発光素子を有する電子機器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0341

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0341】

【化31】

